

神奈川県立がんセンター緩和ケア内科レジデント研修評価表

レジデント名	期 (氏名)	2022.3 ver.1 レジデントは太 枠内を記入
指導医		
研修期間	年 月 日 ~ 年 月 日	

がん診療における基本的緩和ケアを行うことに加えて、より専門的な緩和ケアの以下の内容について自己評価と指導医による評価を受ける。

	A: 修得した B: 概ね修得した C: 目標に達しない	
	自己評価	指導医評価

1. 以下の項目を理解している。

1) 緩和ケアの定義	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
2) 全人的評価の重要性	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
3) がんの痛みに使われる代表的な鎮痛薬の特徴	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
4) オピオイドの薬理・特徴・副作用管理	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
5) がんによる突出痛とレスキュー薬・がん治療に関連する痛み	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
6) がん患者によくみられる症状	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
7) 緩和的放射線治療・神経ブロック治療などのインターベンション	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
8) 骨修飾薬・抗不安薬・ステロイド等の緩和領域で頻用される薬物	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
9) がん患者の物質依存 (オピオイドの不適切使用を含む)	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
10) がん患者の家族に起こる諸問題	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
11) 予後予測と終末期ケア	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
12) 地域連携と在宅医療	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
13) 緩和ケアに関する診療報酬	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C

2. 以下の疾患・病状を有する症例を担当し適切な緩和医療を実践する。

1) 標準的治療に抵抗するがんの痛みを有する症例	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
2) 重篤な呼吸困難を有する症例	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
3) 重度の悪心・嘔吐の症例	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
4) 胸水・腹水・浮腫を有する症例	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
5) 重要臓器機能低下を合併した症例	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
6) 脳転移・髄膜がん腫症の症例	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
7) 適応障害・神経症・うつ等を併発した症例	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
8) 複雑な家族問題・社会背景を有する症例	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
9) 若年者のがん	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
10) 頭頸部腫瘍	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
11) 血液悪性腫瘍	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
12) ロングサバイバー	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
13) 苦痛緩和のための鎮静症例	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C

3. 専門医取得を目指す場合の追加項目

1) 非がん患者の緩和ケア	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
2) 小児患者の緩和ケア	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
3) 救命救急領域・集中治療領域における緩和ケア	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
4) 終末期患者の臨床治験等の倫理的課題	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
5) 多職種協働の重要性	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
6) 緩和医療における医療の質の評価	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C

自由記載欄: (欄不足の場合は裏面へ)

最終評価: 年 月 日

すべての項目でほぼ達成  
 概ね満足できる水準を達成  
 未達成項目がある  
 必要な水準を満たしていない

指導医記載欄:

提出方法: レジデントは研修期間終了時に自己評価を記入して指導医に提出し、指導医は指導医評価を記入後1ヵ月以内に総務企画課に提出すること。